



松江市立 皆美が丘女子高等学校



所在地：〒690-0835 松江市西尾町540-1
電話番号：(0852) 39-0216
FAX 番号：(0852) 39-0829
Eメール：matsueshijo@city.matsue.ed.jp
HPアドレス：https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp



設置学科 学級数 各30人定員

- ◆普通科 3学級
- ◆国際コミュニケーション科 1学級

全校生徒数 271名 (R6.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒。
- ② ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒。
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解し、他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒。

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ・ 学ぶことに真摯であろうとする生徒
- ・ 様々な活動に意欲的に取り組み自分を高めようとする生徒
- ・ ルールを守り、自分も人も大切にすることができる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

学びの特色 (カリキュラムポリシー)

「学びのその先へ」を実現するカリキュラム

普通科

- 2つのコース・4つのエリアから選べる学び
- ★総合進学コース
共通テストで国立4年制大学進学を目指す授業の展開
- ★キャリアデザインコース
高・専・大連携型の実践的な授業の展開

国際コミュニケーション科

- 語学と異文化体験を通じたグローバルな学び
- ★ALTの複数配置による実践的な英語学習
- ★中国語・韓国語の選択学習
(語学検定取得の奨励)
- ★異文化理解・国際交流を基盤とした国際感覚の育成

さまざまな出会いと体験を通じた探究型学習

- ・ 地域課題探究学習「まつえ学」
- ・ 松江の魅力を知る
- ・ キャリア探究学習「総合的な探究」
- ・ 学びを知る
- ・ 課題に気づく
- ・ 課題解決に挑戦する
- ・ 生き方を考える

部活動

地元大学 専門学校 保護者 地域 行政 企業

学校の特徴

中・四国唯一の公立女子高等学校として、昭和29年4月に開校。平成7年4月国際文化科を設置。平成17年4月国際文化科を国際文化観光科に改編。平成27年にユネスコスクールに認定。令和3年4月校名を松江市立皆美が丘女子高等学校に変更し、国際文化観光科を国際コミュニケーション科に改編。

令和5年度、開校70周年を迎えた。

本校の特色

平成20年度より全国でもほとんど例を見ない1クラス30名学級を実現しました。各HR教室には電子黒板を設置し、タブレットは全員に貸与し、ICT機器を使った授業を展開しています。

部活動も盛んで、インターハイに出場回数の多いハンドボール部や全国大会出場経験のある吹奏楽部を始め、体育系6、文化系8の部が活躍しています。部活動以外で活動している生徒(クライミング・ローイング・空手道等)のサポートも充実しています。

また、英語教育には特に力を入れており、2名のALT配置は県内に誇り得るものです。8月からは新規にALT1名が常駐する予定です。

令和3年度入学生からは「学びのその先へ」をキーワードに、上級学校での学びを先取りする授業を行っています。また、学んだことが将来の自分自身のキャリアにつながる授業も選択できるようにしています。

学校設定科目の「まつえ学」を全員が学び、松江市をフィールドとして、地域課題に迫る学習をとおり、「気づき・考え・行動する」力の育成を目指しています。

【教育課程】

普通科は1年次には全員が共通の科目を学びます。2年次からは進路希望に応じて「総合進学コース」「キャリアデザインコース」のどちらかを選択します。「キャリアデザインコース」では更に将来のキャリアにつながる4つの「エリア」(福祉・医療、保育・教育、家政・栄養、観光・ビジネス)からひとつを選択し、上級学校の学びを先取りした学びを展開します。

国際コミュニケーション科は専門学科として外国語(特に英語)を多く学習し、大学などへの進学を目指します。韓国語・中国語(いずれかを選択)の授業も行います。

【学校行事】

遠足、球技大会(年2回)、学園祭(皆美が丘祭)、海外研修旅行(国際コミュニケーション科)、国内修学旅行(普通科)、関西方面大学研修(国際コミュニケーション科)。



松江市総合体育館で行われる体育祭